

ART WORKSHOP FOR PEACE

2015/3/28~4/4
8DAYS

ナガサキ / ヒロシマ

平和を表現するアート"ワークショップ"開催

ピカドンプロジェクト(ニューヨーク)/ピースカルチャービレッジ(ヒロシマ)

地球上に戦争があるかぎり

真の平和は得られない

思いやりのない世界に未来は無いと思うから。

まず平和について考え、表現することから始めよう！

このワークショップは、国際的な平和活動を担う若者の交流をテーマにしています。特長の1つは、ナガサキ・ヒロシマの地に滞在し、人々とゆっくり接することです。もう1つは、国内外の被爆文学やアートを学び、日米の国境・言葉を超えて、平和について考え、表現することです。参加者は日本の若者12名、アメリカの若者6名を予定しています。スケジュール及び参加募集要項は、4~5ページをご覧ください。また、当ワークショップを成功させるために、寄付を募りたいと思います。ご協力をいただける方は、どうぞよろしくお願いいたします。(6ページ参照)



Steven Leeper

主宰 スティーブン・リーパー
 統括 西前拓、キャノン・ハーシー、スティーブン・コーラック
 協力 広島YMCA
 顧問 中村桂子、渡部朋子、ロバート・クルーンキスト、
 キャスリーン・サリバン

企画 ピカドンプロジェクト/ピースカルチャービレッジ
 *上記団体の詳細は次紙をご参照ください。
 事務局 ピースプラットホーム
 開催日 2015年3月28日~4月4日(8days)
 開催地 ナガサキ(前半)/ヒロシマ(後半)

ピースプラットホーム
Peace Platform

当ワークショップの主宰者/スティーブン・リーパー氏の活動をサポートするチームです。当ワークショップの準備、事務作業を受け持ちます。

お問い合わせ メール p.platform2014@gmail.com 電話 090-6979-2661 事務局 森 俊英



ピカドンプロジェクト PIKADON PROJECT

ピカドンプロジェクトとは、「核のない世界」の実現を目指し、いのちの大切さ、楽しさを表現するさまざまなアート活動を展開する国際アートイニシアティブです。黒田征太郎、近藤等則、安藤忠雄、荒木惟経各氏が発起人となって始まったアーティストと教育者のグループです。「核」という全ての人類が否応無く共有する Human Condition=人類の生存条件のなかで、人はいかに生きるべきか、「核のない世界」をどのように目指すべきかを、「アート」を通して表現し人々に問いかけて行く試みです。2004年以來さまざまな表現の「場」を作りながらアートの Chain Reaction=連鎖反応を起こしてきました。

ホームページ <http://pikadon.jp/top.html>

ピースカルチャービレッジ PEACE CULTURE VILLAGE

ピースカルチャービレッジとは、スティーブン・リーパー氏が率いる平和活動の総称です。リーパー氏は長年、活動家・教育者として尽力し、卓越したコミュニケーション能力により、言語の違いを越えた人々の和を結んできました。

当ビレッジでは、次世代に国際的な平和活動を担う若者を育てることを、第1の目的としています。また、地球環境の悪化を憂い、人間の生活（電気・水などを自給自足）について実践的な活動を以って、環境問題に関心をもつ人々との交流を図ることも目的にしています。

現在、人類はその存続が危ぶまれる多くの脅威にさらされています。なかでも「核の問題」は深刻かつ緊急性を要しています。当ビレッジは、人類が「核の問題」をいかに越えていくかを主要課題としています。詳細な考え方は右書に述べられていますので、関心をお持ちの方はご参照ください。

PIKADON



PROJECT



ピカドンプロジェクト
ホームページ



スティーブン・リーパー著
2014年4月 / 燦葉出版社

John Hersey

ジョン・ハーシー (ピューリッツァー賞作家)

1946年5月、ジョン・ハーシー氏は記者として、アメリカから広島へ赴き、原爆被害記録をリアルに取材しました。氏はその内容をまとめ、8月31日、雑誌『ニューヨーカー』にて発表しました。その反響はすさまじく、各国語に翻訳され、世界に原爆の惨禍を知らしめました。ジョン・ハーシー氏は、原爆の「科学的被害調査」の立場とは一線を隔し、「人道主義」の立場から、その被害調査に臨んでいます。そして、原爆の惨禍を広島・日本だけの問題ではなく、「人類」さらには、「自分自身」の問題として受け止めたのです。

今回のワークショップには、氏の孫にあたるキャノン・ハーシー氏 (ピカドンプロジェクトのリーダーのお1人) がスタッフとして参加されます。日米の若者が、このキャノン・ハーシー氏とともに語り、学ぶことも、ワークショップの大きな意義の1つです。

つきましては、日米の参加者には、上述の取材記録の書籍版にあたるジョン・ハーシー著『ヒロシマ』を、事前にお読みいただき、ワークショップにお越しいただきたく考えております。

同書は、国内においては1949年に初版が、2003年に増補版が発行されています。著者は1985年4月に広島を再訪し、その取材報告は同年7月15日の雑誌『ニューヨーカー』に一括掲載されました。その内容が加えられたが2003年の増補版です。そして、2014年5月に新装版が発行されました。



ジョン・ハーシーの取材記録を掲載したアメリカの雑誌『ニューヨーカー』トップページ (1946/8/31)



ジョン・ハーシー著『ヒロシマ』(新装版)
2014年5月発行単行本 本体1500円 法政大学出版局
<http://www.h-up.com/bd/isbn978-4-588-31630-2.html>

2015/3/28(土) ~ 4/4(土) 8日間

(アメリカからの参加者6名は、3月27日の夜に長崎着)

場所	日程	日付	概要	宿泊
長崎	1日	3/28 (土)	28日午前中に集合、オリエンテーション→ワークショップ開始	長崎大学の宿泊施設 「観月荘」 (長崎市上西山町)
	2日	3/29 (日)	28・29日の2日間で長崎の街を歩き、平和公園・原爆資料館・平和祈念像・キリスト教教会 他を見学します。さらには被爆者の方からお話を拝聴します。	観月荘
長崎 ↓ 広島	3日	3/30 (月)	長崎から広島へ大型バスにより移動。 (午前中に長崎を出発、宮島を観光し、夕方に広島市内着)	清岸寺 (広島市中区)
広島	4日	3/31 (火)	31日から最終日までには広島に滞在します。 平和公園・原爆資料館・原爆ドーム 他を見学し、被爆者の方からお話を拝聴します。 そして、日程の後半は作品製作に集中します。 (広島市中区の妙慶院講堂にて)	清岸寺
	5日	4/1 (水)		清岸寺
	6日	4/2 (木)		清岸寺
	7日	4/3 (金)		清岸寺
	8日	4/4 (土)	午前中は作品製作、午後にはアート作品を披露する公開プレゼンテーションをおこないます。 (YMCAインターナショナルホールにて) プレゼンテーション終了後に解散。アメリカからの参加者のみ清岸寺に宿泊し、翌日に帰国の途へ。	

*上記の概要部分に記されている内容は、追加・変更もありますのでご了承ください。

*参加者には、さらに詳しいプログラム資料をお渡しします(3月上旬)。

募集定員

18名前後の人数を予定しています。アメリカから6名、国内においては広島から6名・長崎から6名です。ただし、広島・長崎在住でなくとも、ワークショップの趣旨に深く関心をもつ方ならば、参加可能です。

参加条件

- ① 年齢は17～24歳の男女
- ② 美術・音楽・映像などに関心が深い方、あるいは情報発信に卓越されている方、そして国際交流・平和について関心をもつ方、などの若者の参加を期待しています。
- ③ 英会話が得意な方（ただし、英会話は必須条件ではありません。ワークショップ中には通訳者の協力もあります）。
- ④ 申込みには、主催者、または大学などの教育機関の推薦が必要となります。そして申込み者が募集定員を超える場合は主催者側による選考もおこないますので、その旨をご確認ください。
- ⑤ 参加者は、全日程（8日間）の参加が必要です。
- ⑥ 参加者は、事前に『ヒロシマ』（ジョン・ハーシー著）を読み、ワークショップに臨んでいただきたく考えています（3ページの「参考図書」に詳細あり）。

宿泊

宿泊については、長崎は長崎大学の宿泊施設「観月荘」、広島は清岸寺（浄土宗寺院）です。ただし、参加者の自宅がワークショップ会場に近い場合は、その期間は自宅から通うことも可能です（選択可）。

費用

お1人、38,000円です（宿泊・食事・保険などの費用）。

また、長崎にて集合（3月28日）、広島にて解散（4月4日）ですので、その前後の交通費は参加者負担となります。

（ただし、今回のワークショップについては、協力いただける各種団体・個人に寄付を事前にお願ひし、開催期間中の諸費用を捻出します。その寄付総額によっては、お1人につき38,000円の参加費の一部を減額できることも予想されます。）

申込み・問い合わせ

参加をご希望の方は、推薦者を通じてワークショップ事務局（下記）にご連絡ください。また、推薦者がいない場合や、お問い合わせについても事務局までお願いします。

申込み期間は2015年1月1日～1月31日です。申込み者が定員を超える場合は2月に選考をおこないます。

お問い合わせ ピースプラットフォーム

メール p.platform2014@gmail.com

電話 090-6979-2661 事務局 森 俊英



ART
WORKSHOP
FOR
PEACE
2015

アートワークショップ 支援募金にご協力をお願いいたします。

勸募期間：2015/1/1 ~ 4/4 募金目標額：75 0,000 円

皆さまからお寄せいただいた支援金は、アートワークショップ開催における下記の費用に充てられます。

- ・長崎から広島に移動する際の大型バスの諸費（3月30日）
- ・講師（外部依頼）への謝礼および交通費
- ・アート作品製作のための材料費・会場養生費
- ・長崎市内・広島市内の施設見学費・交通費
- ・最終日の公開プレゼンテーション開催費
- ・運営スタッフの宿泊などの諸費、事務費、その他

【募金いただいた方には】

ご送金を確認後、受領書をお送りいたします。そして後日、ワークショップ開催中に実施された講演などの要旨と、アート作品製作時の写真などを含めた報告書および決算書をお送りします。また、その報告書には募金いただいた方（団体・個人）のお名前を記載いたします。

【募金方法】

- 募金額 団体（法人） 1口 10,000円 個人 1口 2,000円
- ご送金 お近くの「ゆうちょ銀行」（郵便局）からお振込みください。
口座名 ピースプラットフォーム 口座番号 00980-3-203238
- 振込用紙 ゆうちょ銀行の窓口にある青色の振込用紙（送金料は振込者負担）をご利用ください。事務局（下記）にご連絡いただければ、専用の振込用紙をお送りいたします。

【その他】

通訳・運営・事務作業のボランティアを若干名、募集いたします。ご協力いただける方は事務局にご連絡ください。詳細をお伝えいたします。

平和を表現するアートワークショップを成功させるため、
皆さまのご支援を、なにとぞお願い申し上げます。

お問い合わせ ピースプラットフォーム

メール p.platform2014@gmail.com 電話 090-6979-2661 事務局 森 俊英

